

2012年8月17日（金曜）

日光ハイク（白根山登山）

レポート by 熊本

二日目（8月17日 金曜日）は今回の主目的「日光白根山：2578m」登山の日である。



朝4時半に起床、朝風呂に入り、5時半に湯の湖を散策、青空が広がっている。



白根山を臨めば、山頂は見えないが、下りに予定しているスキー場ゲレンデの急斜面が見える



7:50 事前に依頼しておいたタクシー2台に分乗して丸沼高原に向かう。



8:20 に丸沼高原に到着。
白根山ロープウェー乗り場に向かう。



標高 1300m の丸山高原から山頂駅
標高 2000m までの標高差 700m を 15 分
であがる。勿論、下りは山頂から日光湯
元へ下山の予定であり、片道切符
（¥1000）を購入する。



8:40 山頂駅の標高 2000m に到着。
早速、登山準備し、スターとの記念写真。



チングルマの実

トリカブト



ハクサンフウロ



ミソガワソウ？



コマクサ



二荒山神社の鳥居が日光白根山の登山口になっている。



歩いてすぐに二荒山神社の奥宮がある。



鹿除けの鉄格子のゲート入る。



歩き始めて 30 分、最初の休憩(9:10)。



カニコウモリ



イチヤクソウ



オトギリソウ



カニコウモリの群生



アキノキリンソウの群生



アキノキリンソウ



9:20 大日如来を過ぎる。



七色平はハクサンフウロ（薄紫）、アキノキリンソウ（黄）、ヤグルマソウ（白）のお花畠(9:40)。



ここから、座禅山への分岐まで急登が始まる。



ブナ、シラビソの樹林帯で陽が差し込まず湿った苔むした登山道を、大汗をかきながら登る



川島さんを先頭に、岡部さん、小山さん、根岸さん、布目さん、熊本の順を崩さずに登る。



30分ほど急登を詰めると尾根に出て、展望が開ける。
周囲一面はアキノキリンソウとカニコウモリで埋め尽くされている。



10:15 座禅山、弥陀が池（菅沼登山口からのコース）、白根山頂の分岐点に到着。
標高 2300m
山頂までの最後の急登を前に小休止。
眼下には「弥陀が池」が見える。



5 分ほど登ると弥陀が池の全体が見えた。



森林限界を超えて背の低い灌木とガレ場が始まる。



川島さんを先頭にガレ場の急登に取り付く。
山頂はガスに包まれて見えない。



密集したシャクナゲの中を進む。



ヤグルマソウ？



コケモモ



標高 2500m まで登り、山頂の岩場もガスを通して見えてきた。



岩場の直下に到達した(11:00)。

ところが急に大粒の雨が落ちてきた。雨具に身を包み、登り初めて 2, 3 分したとき、突然近くで雷鳴が轟いた。森林限界を過ぎたところで、カミナリは怖い。山頂まで残り 20 分のところまで届いたが、カミナリには登頂を断念せざるをえない。



下山を決断し、森林限界から樹林帯の中へ入る。

勿論、当初計画の山頂から日光湯元への縦断も断念し丸沼高原へ戻ることにした。

安全第一の手段を選択した。



12:20 大日如来まで戻り、無事下山の御礼



13:00 白根山ロープウェー山頂駅まで戻り、東屋で、登頂は果たせなかつたが、無事下山を祝い赤ワインで乾杯！



無事下山でホットし、次は缶ビールで乾杯！



乾杯している間に一瞬、白根山頂のガスが取れ全貌を現した。



シロミソガワソウ？



ミソガワソウ？



ヨツバヒヨドリ



シラネアオイの実



ホタルブクロ



ヤマハハコ



ツリガネニンジン



タカネナデシコ



急遽カミナリのお陰で、コース変更し、心ならずも、スタート地点の丸沼高原(群馬県)に戻ってきた。

しかし、ホテルに戻る手段がなく、根岸さんが、往路に使ったタクシーに電話で交渉し、何とかホテル(栃木県)までの送迎を成立させた。

一台のため、二回に亘り、ホテルで折り返しピストン輸送となり、女性陣が最初にホテルに向かう。



男性陣は二回目となるため、寂しく丸沼高原にて迎えのタクシーを待つ。



全員が 16 時 20 分にはホテルに戻り、温泉に入り今日一日かいた大汗を流しサッパリする。

夕食前に、今日を振り返りながら無事帰還を祝し、冷えた日本酒で乾杯！

旨——い！



夕食のバイキングは、我々はコツをつかみ、長い行列で食事の選択を尻目に見ながら、ツマミと成りそうな枝豆、刺身、テンプラ等のみを先に取り、先ずは飲み放題の生ビールで乾杯！

登頂は果たす事は出来ませんでしたが、カミナリではしうがなく、来年6月のシラネアオイと山頂直下のシャクナゲのトンネル時期に山頂アタックのリベンジを誓いました。